

令和4年度 台東区立忍岡小学校 学校経営計画・学校評価表(自己評価・学校関係者評価)

2023/4/21

学校教育目標 ○がまん強い子 ○考える子 ○思いやりのある子 ○健康な子											
○目指す学校像 子供にとって「今日が楽しく、明日が待たれる学校」 地域や保護者にとって「安心して子供を預けられ、誇りに思うことのできる学校」 教職員にとって「互いが協力し合い、やりがいのある学校」											
○目指す児童像 「確かな学力を身に付け、進んで探究し、自ら表現できる子供」「互いの人格を尊重し、きまりを守り、思いやりの心をもてる子供」「地域を愛し、誇りに思い、将来地域の発展に貢献できる子供」											
○目指す教師像 「教育公務員としての自覚を高める教師」「心身共に健康な教師」「専門性を生かし、資質・能力を向上させ協同して仕事ができる教師」「家庭・地域と連携する教師」											
領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	分析コメント	改善策	学校関係者評価 記入欄	評価
基礎 学力の 充実・ 向上	学習指導要領に示される活用できる知識・技能を確実に身に付けさせる過程で「確かな学力」(問題解決力、思考・判断・表現力、学びに向かう力)を育成・向上させる。幼稚園・保育園、小・中学校を見通して、「提案できる力」を育成する。	・基礎・基本の学力の定着と共に専門性のある授業の機会を多く設け、多種多様なことに興味・関心をもち、自分で考え表現できる子供を育てる。 ・問題解決型の授業展開への工夫・改善を行う。また、理由や根拠をもとに自分の考えをもち、提案できる力を育成する。	専門講師を招き専門的な授業を行ったり、児童が興味・関心をもつ授業の工夫を実施したりする。	4 12回以上実施 3 10回以上実施 2 8回以上実施 1 8回未満の実施	4	児童へのアンケート調査で、専門講師を招いた授業が 4 90%以上の児童が楽しいと回答。 3 80%以上の児童が楽しいと回答。 2 70%以上の児童が楽しいと回答。 1 70%未満の児童が楽しいと回答。	3.8	【成果】 ・制約のある中で、取り組むことができていると思います ・児童は、楽しんで活動を行ったり、ゲストティーチャーの方に積極的に知りたいことを質問していた。ゲストティーチャーの方に教えて頂いたことを児童の次の活動に生かすことができた。 ・専門家の話を直接お聞きすることは子供たちの興味が広がることにつながる。担任が話をするのはまた違う良さがあった。 ・箏講師を招いてクラブ活動や合奏指導をしている。忍岡小の伝統の一つとして、児童も前向きに取り組んでいる。 ・起業家教育やヒラメの養殖で専門的な外部講師を招き、学習を行うことができた。 【課題】 ①ゲストティーチャーの方の話が児童の実態やこちらの願いとずれてしまうことがあり、物足りないさを感じるがあった。 ②コロナの影響により子供たちが訪問することが難しい施設がある。 ③コロナ感染対策として、積極的に外部講師を招くことを控えた。年間指導計画の中に専門講師を招いた学習の位置づけが、1学年の場合、少ない。	・今後も児童に興味関心をもたせるため、また、児童の興味によって知りたいことを探究できるようにするため、必要な場面でゲストティーチャーの方に依頼をしていくようにする。	コロナ禍だがよくやってる。専門家の授業、興味関心をもたせるための授業の工夫を続けてほしい。	3 ・ 9
			「読み・書き・計算」の技能の定着を計画的・意図的に行う。	4 全学級が実施 3 8学級が実施 2 7学級が実施 1 7学級未満の実施	4	「読み・書き・計算」に関するテストの結果から、 4 80%以上の児童が、テストで85点以上とることができる。 3 70%以上の児童が、テストで85点以上とることができる。 2 60%以上の児童が、テストで85点以上とることができる。 1 60%未満の児童が、テストで85点以上とることができる。	3.5	【成果】 ・小テストや習熟プリントなどを定期的に行うことで、漢字の読み書きや計算が身についてきた。 ・算数少人数の先生、担任の先生方が時間を工夫して取り組みを進めてくださっていると思います。 ・個別の課題を日々細かく確認することで躓きを正しく把握することができた。 ・漢字の小テストや算数のプリントなどを定期的に行ったことが成果に表れた。 【課題】 ①正しい漢字の読み書きが定着していない児童も数名いる。 ②「はね」がない、消し方が十分でなく重ね書きのようにになっている、などでも点数を引いている。 新出漢字の時や宿題等でも指導をしているが、なかなか定着しない。 ③個々の能力を高めるための手立てを考えたがそれを実行しようとする本人の負担になってしまっており、保護者からの要望もあって思うように活動を行っていない。	①繰り返し既習の漢字を復習するようにし、小テストも継続的に実施していく。 ②低学年の内にしっかりとさせたいところなので、テストの採点は厳しくてよいと思うが、読み・書き・計算はご家庭の協力も必要。 ③日々の学校生活が元気に過ごせることを第一にして無理はさせない。	定着には今後も継続した取組が必要。	3 ・ 7
			読書の楽しさを体得させ、読書習慣の定着を計画的・意図的に行う。	4 全学級が実施 3 8学級が実施 2 7学級が実施 1 7学級未満の実施	4	児童へのアンケート調査で、 4 85%以上の児童が週に3、4日は読書をしていると回答。 3 80%以上の児童が週に3、4日は読書をしていると回答。 2 75%以上の児童が週に3、4日は読書をしていると回答。 1 75%未満の児童が週に3、4日は読書をしていると回答。	3	【成果】 ・制約のある中で、取り組むことができていると思います ・図書時間を週に1時間確保し、図書室のいろいろな本を読ませたり、司書の先生に学年に合った読み聞かせを行っていただいたりしたことにより、本が好きで、進んで読書をする児童が多い。 ・短い時間でも時間があるたびに読書をさせてきたので、大分、一人で本を読むことができるようになってきた。 ・日々の読み聞かせを継続することで読書への興味を高めることができた。 ・図書時間や朝学習の時間を活用して読書活動を多く行ったことで、読書週間に身に付いた。 【課題】 ①読む本が漫画や図鑑などに偏ってしまっている児童が多い。 ②一人で本を読むという習慣がっていない児童が多く、家庭への協力が足りなかった。(低学年) ③読み聞かせは楽しんでいるが、自分の読書活動(特に家庭での)には思うように結びつかない。 ④読書が好きな児童が多いが、あまり読書の時間を取っていない。	①読書する際に、その時期の学習に合った本や、季節に合った本などに決めて本を読む時間をつくり、偏ることなくいろいろな本に会えるようにする。 ②③家庭への協力。読書週間に合わせて、朝学習に朝読書の時間を設けて、読書を促すようにしていく。 ④週に何度か読書時間を取るようになる。	・読書時間を確保することが大事	3 ・ 6

豊かな心の育成	<p>善悪の判断、規範意識、公共心や公德心に伴う正しい言動、互いの人権と生命尊重・自分と共に他者を思いやる心や態度、正義感や責任感を育成する。</p> <p>・規範意識をもち、規律正しい生活を送る。</p> <p>・地域を愛し、誇りに思う心情・態度を育てる。</p>	<p>きまりを守り安全に生活できるよう全教職員が共通理解を図り、年間を通して継続的に指導する。</p>	<p>4 全学級が実施 3 8学級が実施 2 7学級が実施 1 7学級未満の実施</p>	<p>4 90%以上がきまりを守ろうとしていると回答。 3 80%以上がきまりを守ろうとしていると回答。 2 70%以上がきまりを守ろうとしていると回答。 1 70%未満がきまりを守ろうとしていると回答。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校のきまりを先生たちが同じ方向で繰り返し指導していることにより、全学年の児童が学校のきまりを理解し、守って生活しようとする姿勢が見られる。 ・生活指導朝会などで確認する機会が増えていると思います。 ・学校生活の決まりを日々確認する時間を設けてクラス全体に統一した指導を行うことで当たり前を守るべきこととしての認識ができてきた。 ・日頃、細かく指導（声掛け）を行ったことが成果に結び付いた。 <p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①きまりは理解していてもなかなか、その知識が自分の行動に結びつかない児童がいる。 ②頻繁に共通理解の機会はあるが、児童全体を通しては、できる活動が増えてきているので気になる場面もでてきているように思います。 ③1回でもルールを守らずに注意されると、「あまりできなかった」と答えているように思う。 <p>④きまりの内容の見直し・検討が必要。</p>	<p>①今後も気付いたことがあればどの学年の児童にも学校のきまりを指導し、教員で情報を共有していくようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く繰り返し指導を続けていく。 <p>②小さなことでも共通理解の場を設けたり、予防的対応が必要だと思います。（きまりの確認を先にするなど）</p> <p>③アンケートをとるときにも少し具体的に伝えるようにする。</p> <p>④きまりの内容を見直し、検討する。できていることを褒めるなどして、自己肯定感を高める声かけを続けていく。</p>	<p>学校内外での安全を保つには根気強く指導してほしい</p>	3 ・ 7
		<p>地域の方にも挨拶が進んでできるよう計画的・意図的に指導を行う。</p>	<p>4 全学級が実施 3 8学級が実施 2 7学級が実施 1 7学級未満の実施</p>	<p>4 90%以上の児童が挨拶できたと回答。 3 80%以上の児童が挨拶できたと回答。 2 70%以上の児童が挨拶できたと回答。 1 70%未満の児童が挨拶できたと回答。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で関わった地域の方などに進んで挨拶をする児童が多い。また、全員で一斉にする挨拶は大きな声でできている。 ・自分から挨拶をできる児童が増えてきている。 <p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①廊下ですれ違った際などに集団でないとなかなか挨拶できていない。また、挨拶の声も小さい。 ・マスクをしているせいか、あいさつはしていると思うが声が小さいかなと思います。教師側から挨拶をすれば返すことができるが、自分からの挨拶がなかなか出てこない児童がいる。 ②地域の人に挨拶をするように指導しているのか、またはする必要があるのか。校内の教職員や、お客さんや児童同士で挨拶をすることは指導できる。指標を見直す必要があるのではないかな。 ③地域の学習はできたが、地域と交流する機会が少なかった。 ④コロナ禍で地域の方と触れ合う機会自体が少なかった。担任からの声掛けは行っていたが、子供がより具体的に行動できるような声掛けが必要だった。 	<p>①教員が自ら大きな声で挨拶をしていくようにする。また、挨拶の仕方を繰り返し指導して日々教室でも挨拶を繰り返し指導していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々教室でも挨拶を繰り返し指導していく。 <p>②実態に合わせて、「分け隔てなくどんな人にも自分からあいさつをする」という指標はどうか。</p> <p>③地域の学習や地域の方々との交流を念頭において計画するようにする。</p> <p>④コロナ禍で中止していた玄関での挨拶当番を行うようにしていく。</p>	<p>コロナ禍で難しいことのように思う。教員が率先して行ってほしい。</p>	3 ・ 3
		<p>生活科、総合的な学習の時間を利用して地域の学習や地域の人との交流や活動を意欲的に行う。</p>	<p>4 全学級が実施 3 8学級が実施 2 7学級が実施 1 7学級未満の実施</p>	<p>4 90%以上の児童が交流をできたと回答。 3 80%以上の児童が交流をできたと回答。 2 70%以上の児童が交流をできたと回答。 1 70%未満の児童が交流をできたと回答。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の研究が地域との関わりをテーマにしていることもあり、どの学年も地域と積極的に関わっている様子が見られる。2児童は、進んで質問したり、「地域の方が優しかった。」「地域の方にお礼をしたい。」と感想をもつなど、地域に愛着をもっている児童が多い。 ・学年に応じて地域を巡る活動がたくさんあったと思います。改めて学区の良さに気づいてくれているといいなと思いました。 ・上野公園を活用した総合的な学習を行うことができた。 <p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①個々の調べ活動が中心となってしまう、施設や地域の人々と直接関わる機会が思うように設定できなかった。 ②1学年の場合、授業場面において地域の方々と関わる場面がない。 ③総合的な学習で外部講師と触れ合う機会は多かったが、それが地域の方との交流という認識が子供になかった。 	<p>・今後も地域との関わりを大切に児童が地域に愛着をもてるような授業を行っていく。</p>	<p>ここは立地に恵まれている。地域財産を有効活用してほしい。</p>	3 ・ 6
<p>生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を培う。運動の楽しさや喜びを味わいながら、体力の向上を図る。</p>	<p>進んで運動に取り組む態度を培い、発達段階に適した体力の向上を図る。</p> <p>体育朝会を計画的に実施する。日常の運動を活発に行う指導を工夫する。</p>	<p>4 全学級が実施 3 8学級が実施 2 7学級が実施 1 7学級未満の実施</p>	<p>4 90%以上の児童が運動が好きと回答。 3 80%以上の児童が運動が好きと回答。 2 70%以上の児童が運動が好きと回答。 1 70%未満の児童が運動が好きと回答。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育朝会では、今年度は全学年が一斉に体を動かす内容はなかなかできなかったが、運動委員会が作る動画を児童は楽しんで見ていた。鉄棒の動画では、上学年が行う技を見て、「やってみよう!」という思いをもつ児童が多く、その後の体育の学習でも意欲的に鉄棒に取り組んでいた。 ・朝会については、制約されている中で安全に取り組むことができています。 ・毎週の体育の時間だけに限らず日々朝の会でも体を動かす時間を設定して体力向上に努めた。 <p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①運動に苦手意識をもつ児童も数名いる。 ・体力の個人差が大きく、積極的に体育に取り組めない児童がいる。 ②休み時間に校庭、体育館を使用できない学年についての活動があると良いのかなと思う。 ③体育朝会や体育の授業、体育行事でもっと運動の楽しさに触れさせるような手立てが必要だった。 	<p>・運動が苦手な児童でも楽しめる授業、楽しく体を動かすことができる授業の進め方を工夫する。</p> <p>①励ましの言葉、活動の価値付けを行って指導を重ねていく。マラソンでは練習から同じ距離を練習して記録をすることで、自分の記録と向き合うようにするなどの指導の工夫を行っていく。</p> <p>②昔遊びの道具などを学級に配布（持って行けるように）し、教室で遊べるようにしていく。読書をする、運動委員会の動画を活用等、実態に応じて活用していく。</p> <p>③運動遊びの資料を体育行事委員会から教員に提案してもらう。</p> <p>体力調査の結果を生かして、授業を計画していく。</p>	<p>運動の楽しさを味わわせ、生涯スポーツにつなげてほしい。</p>	3 ・ 6	

家庭・地域との連携・協力	学校の透明性を高め、地域に開かれた学校づくりを推進する。	学校の教育方針や、学校が考えていることを積極的に家庭や地域に知らせ、家庭や地域と連携した学校づくりを行う。	学校から積極的に印刷物やホームページの作成等情報の発信を行う。	4 100%が実施 3 90%以上実施 2 80%以上実施 1 80%未満の実施	4 保護者へのアンケート調査で、 4 90%以上の保護者が目を通すと回答。 3 80%以上の保護者が目を通すと回答。 2 70%以上の保護者が目を通すと回答。 1 70%未満の保護者が目を通すと回答。	4 【成果】 ・新型コロナウイルス感染症対応続けながら、できる活動について保護者の方に安心していただけるように様々な発信ができたと思います。 ・学年だより等を通じて学年の行事や下校時間などをきちんと連絡することができた。 【課題】 ①確認の度合いに個人差が大きい	①必要な連絡については繰り返し声をかけていくようにする。	個人的にメールよりも文書の方がよい。	3 ・ 8
			授業・行事参観、保護者会・家庭訪問・個人面談等を通して、保護者や地域との連携を行う。	4 100%が実施 3 90%以上実施 2 80%以上実施 1 80%未満の実施	4 保護者会、学校公開等に学期に3回以上、 4 保護者の80%以上が参加。 3 保護者の70%以上が参加。 2 保護者の60%以上が参加。 1 保護者の60%未満の参加。	3.7 【成果】 ・学校に来ていただくことによって、児童の日常の様子を見て頂き、面談などでも情報を共有することができた。また、町たんけんの学習などで、保護者の方にも見守りを行って頂くことで安全に学習を行うことができた。 ・制約のある中で、安全に工夫して取り組むことができたと思います。 ・授業の様子を見ていただくことでクラスの雰囲気や学習の様子を知っていただくことができた。 ・音楽会では多くの保護者や地域の方々に参観頂いた。アンケートにはあたたかい感想が多く、学習成果を発表するよい機会になったと思う。 ・土曜学校公開日に専科の授業も行うことで、クラスとは違った児童の様子を保護者に見て頂けたと思う。 【課題】 ①土曜公開・行事・協力を依頼したときなど、いつも来れない保護者がいる。なかなか児童の学校での様子を見て頂けない。 ②1年を通してほとんど学校に来ていただけない保護者がいる。	①今後も保護者の方と連絡を取り合い、児童の様子についてなど情報を共有していくようにする。なかなか実際に見ていただけないお家には、面談で様子や課題など詳しく伝えられるようにする。 ②繰り返し学校に様子を見に来ていただけるように声をかける。また、保護者会をteamsで配信するようにする。	これからもよりよい連携ができるようにしてほしい。	3 ・ 8